

2004年9月26日(日曜日)

未来を託す人づくり

元気な福井の実現に向けて ●●●●

私たちのふるさと福井の将来を担う子供たち。

「地域の宝物」とも言える子供たちを育てていく上で、これまで学校は大きな役割を担ってきました。

そして今、家庭や地域、学校が連携して、地域社会全体で子供たちを育てていく取り組みが始まっています。

1

ボランティアが低学年児童の学校生活をサポート

小学校低学年では、基本的な生活習慣がまだ身に付いていなかったり、長い時間、先生の話を中心して聞いているのは難しいものです。そこで、低学年児童の学校生活を手助けするため、保護者や地域の方々ボランティアとして活躍しています。

勝山市の成器南小学校では、初めての企画として、9月14日にフルートの生演奏付きで本の読み聞かせを行いました。本を読むのも楽器を演奏するのもすべてボランティアの皆さん。授業が始まる前の朝のひととき、子供たちはフルートの調べとお話の世界に引き込まれているようでした。

また南条小学校では、今年4月から、ボランティアが低学年の国語や算数の授業に加わって、子供たちの学習を手助けしています。

ボランティアの三田村さんは、「子供たちと触れ合うことでパワーをもらい、自分自身が楽しんでいる」とのこと。担任の山田教諭も、「ボランティアの方に加わってもらうお陰で、どの子供にも目が行き届くので、とても助かっている」とのことでした。



フルートの調べにあわせた本の読み聞かせに聞き入る子供たち=成器南小学校(勝山市)



算数の授業で子供たちをサポートするボランティア=南条小学校(南条町)

2

チーム・ティーチングなどによるきめ細かな指導

チーム・ティーチングとは、複数の先生がチームを組んで授業を行う指導方法で、県内各地の小中学校で取り入れています。

小浜第二中学校では、週3時間の理科の授業のうち1時間をチーム・ティーチングにしています。理科を受け持つ稲葉教諭は「特に、実験や観察の場合、考え方のヒントやポイントなどを細かく指導することができる」ことから、授業を受ける生徒にとってメリットがあることを強調。また、チームを組む先生同士が相互に指導法を見ることができるので、「お互いの刺激にもなり、いい勉強になる」といった効果も生まれているとのことでした。

また、ひとつのクラスを複数のクラスに分けて少人数のグループを作り、きめ細かく指導するという「少人数指導」も取り入れています。

上中中学校では、3年前から英語と数学で少人数指導をスタートし、昨年からはさらに習熟度別のクラス編成も導入しました。「人数が少ないとたくさん発言できるので、よく話せるようになった」とか、「分からないところがあってもすぐに質問できるので、勉強しやすい」と生徒には大好評。英語検定の合格者が増えるといった結果も出ており、具体的な成果につながっています。



理科の教師2名がチームを組んで、生徒にきめ細かく説明＝小浜第二中学校（小浜市）



英語の授業に少人数指導を取り入れている上中中学校（上中町）

3

社会全体で子供を育む 福井型コミュニティ・スクール

子供たちを、地域ぐるみで育てていこうというのが福井型コミュニティ・スクールです。保護者や地域の皆さんが学校と一緒に、自分たちの地域の将来を担う子供たちをどのように育てていくか考え、そして共に協力しながら子供たちを育む取り組みを行っています。

昨年度からスタートしたこの活動は、今年度は県内各地の11小・中学校をモデル校として実施しています。

その中のひとつ、江市の北中山小学校では公民館と連携して、「田んぼ」を活動の場として、「感性を育てる教育」を行っています。

こうした取り組みを通じて、地元の産業を理解したり、子供たちの五感を育てるとともに、理科や社会科、生活科などの教科の充実にもつなげています。



福井豪雨にもめげず立派に実った稲を刈り取る子供たち＝北中山小学校（鯖江市）

5月に子供たちが植えた苗は、7月の福井豪雨で冠水したにもかかわらず元気に育ちました。9月15日、地元の農家の方々が、鎌の使い方など稲刈りの仕方を説明した後、子供たちが稲刈りを行いました。

今後は、粳の乾燥を実際に行いながら精米の過程について学んだり、地元の方々からワラを使った細工を教えてもらったりすることにしています。

また、高浜町の和田小学校は、昨年9月に「福井型コミュニティ・スクール」のモデル校に指定され、「地域から学校へ、学校から地域へ、そして地域と学校が共に」をコンセプトにこれまで活動してきました。こうした活動が地域に根付き、モデル校の指定が終わった今年度も引き続き、地域を挙げて福井型コミュニティ・スクールに取り組んでいます。



福井型コミュニティ・スクールの活動も2年目を迎え、着実に地域に根付いている和田小学校（高浜町）

4

ゆとりの中で個性を伸ばす 中高一貫教育

中学校と高校との間でも、新たに「中高一貫教育」の導入に向けた研究を進めています。これは、中学校と高校の6年間をつなげて、ゆとりの中で生徒の個性や創造性を伸ばすというものです。

今年度は、朝日東中学校と丹生高校、金津中学校・芦原中学校と金津高校、そして三方中学校・美浜中学校と美方高校の合計3地域が、それぞれの地域に合った中高一貫教育について研究し、今後、新たにスタートすることにしています。

学校だけではなく、家庭や地域も加わって、地域の特色を活かしながら子供たちを育てていく取り組みが、県内各地で始まっています。

是非皆さんも、教育にもっと関心を持ち、そして学校と互いに手を取り合いながら、地域全体で子供たちを育てていきましょう。

この記事に関するお問い合わせは、次の課までどうぞ。

- ① ② ③ 県義務教育課 ☎0776-20-0575
- ④ 県高校教育課 ☎0776-20-0549

 **BACK**